



こじか荘 勝手に写真コンテスト

今回から始まった「勝手に写真コンテスト」

ご利用者のその時、その一瞬を大切にすること。撮影した写真を編集委員の私が勝手にコンテストを開催し、独断と偏見で審査するこの企画。職員の腕前をご覧ください！

こじか荘から版

撮影者コメント



特養介護士
丸田電士

題名

「瞳に映る花模様」

ベストショット賞



次回も
お楽しみに！



つじを見つめ、いかに美しく生けるのか。真剣に向き合う男一人、「こじ」にあり。「ようせんぞー」そんな言葉とは裏腹に、職員が願い出ると、いざ、参ろう！「これはこじがいいかの。初めてとは思えない手つきで、職員をリードしながら、見事な生け花の完成ですー花見会の準備の様子でした！

ほのぼの賞

撮影者コメント



通所介護士
塚原 豊

題名

「ともに白髪のはえるまで」



新緑が美しい初夏、こじか荘の観音様にお参りに行った写真です。ご主人を氣遣う奥さん、ご主人は照れくさいのか、ぶっきらぼうな言葉を返すも二人とも大変幸せそうな表情をされています。長年連れ添い、ご夫婦そろって一緒に「アイサー」をご利用されとても羨ましいと思います。また新婚の私ですが、こんな老後を迎える事が出来たらいいなと思う素敵なお場面でした。

新もつとち〜つと

こじか荘を 見て！聞いて！知って〜！

各部署の仕事への情熱・取り組み・想いを
この一年、皆さんへぶつけていきます！

天使のように包み込む 看護



特養看護師
竹島 美希

私の看護は内科勤務からのスタートでした。ある日、血友病の患者さんの採血を、当時は試験管で採取し、不注意でそれを溢してしまった私に、担当医は、「何回も採血できない患者さん、何回も採血をしたのか。」と言われ、私をその患者さんの所へ連れて行き、謝ってくださいました。



「体調を気遣う姿はまさに・・・！」

「恩師の言葉に感銘をうけた」

患者さんは、看護師のハードな勤務を分かってくださり、「怒らなくていいから、私は大丈夫ですよ。」と言ってくれたことがありました。それから後に、恩師は、「そのままでいいよ。看護師を辞めるなよ。」と励ましてくださいました。あれから二十年経ちました。恩師の言葉に支えられ、いろいろな看護現場を経験し、今、こじか荘のご利用者の方の健康を支えていきたいと頑張っている看護師をやっていきます。

みなさんのハブスポット 通所



通所課長
香川 直規

「みなさん、心待ちにされています」



ハッピー☆デイサービス

出来上がったお菓子はお茶の時間に召し上がり、とても美味しく出来たと好評です。「次回も休まないで、楽しみに来る。」と言われる方もおられるなど、デイサービス利用の励みにも繋がっている時間です。お菓子作り以外にもゲームなども盛り上がりつつ楽しんでいただいています。



デイサービスの新しい取り組みについて紹介させていただきます。毎月第一水曜日は「お菓子作り」の日です。4月は「きんつば」、5月は「クレープ」、6月は「クリームチーズの蒸しパン」を作りました。手際よく作業をすすめられ、楽しい雰囲気でお菓子作りをされています。

愛・夢・情熱 特養



特養介護士
長谷川 栄壮



「ご利用者の癒しの空間」

しかし、雨の日や寒い時期に外へのお参りは困難でした。「このようにして職員で話し合い、屋内でもお参りできるようにしよう」ということになり、食堂に飾ってあった立派な観音様の絵を居室棟の中央に移動し、お賽銭箱を作って設置しました。意外にステキな空間となり、皆さん気軽に自由にお参りできるようになり喜ばれています。



特養の方よつとした取り組みを紹介いたします。こじか荘には、敷地内に立派な観音像があります。ご利用者の中には、その観音様へのお参りを日課にされている方がおられます。

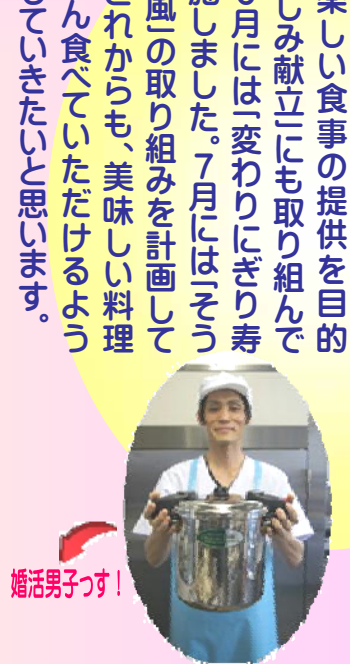
こんにちは！いつも爽やか 窓口



事務部長
系原 征司



「誠実・堅実・笑顔」事務所には、いつも誠実な対応を心掛けているスタッフ3名が勤務しています。事務所と言っても事務の仕事だけではありません。施設の中で「扉の調子が悪い」というような声があれば工具箱を抱えて走って行くこともあります。知力、体力も必要な仕事なのです。



婚活男子つす！

「何でもおまかせ・圧力釜」

美味しい食事の玉手箱 厨房



調理員
大川 ヒトミ

「美味しいご飯で元気な毎日」栄養課の紹介をさせていただきます。ご利用者の皆さんに適切で、安心・安全な食事の提供をモットーに、色々な調理の機械を駆使して、おいしい食事作りに励んでいます。中でも、圧力釜は軟らかく調理するのに重宝しており、硬いものが噛みにくい方にも食べやすくすることが出来ます。

いつでも駆けつけませ〜 支援センター



介護支援専門員
小玉 幸子



「元気な毎日を送っていただくために」

「あなたを元気を応援します」「おまかせ一座」として、地域のサロンを訪れるようになって、早八年。毎年お伺いする所では、おなじみの方々の顔が揃っている。今年も元気で過ごされている。「と安心し、初めての所では、皆さんの温かさやパワーに触れ、新たな出会いを楽しませてもらっています。」

豊作

こじか荘支援センター前の菜園で、トマトの初・収穫です！通所ご利用者が味わいながらの収穫となりました！



あれこれ掲示板

きんさいスタジアムへGO〜！

6月30日(日)
特養ご利用者3名の方が三次へ野球観戦に行かれました。今年も特養は夢を叶えるお手伝いをしていきます！



チャレンジ2013

5月29日(日)
こじか荘もチャレンジ2013に挑戦しました。15分以上の活動で楽しめました！



家族介護者教室

6月27日(水)
家族介護者教室(11名参加)を開催しました。体を動かしたり、在宅介護についてなど、活発な意見交換を行いました。



編集委員は記事を求めて今日も走る〜！

第5弾

こじか荘の職員白慢!

(みんな職員
こんな職員)

窓口のマドンナにほれる笑みが僕らも癒す

「私の家族仲良しの秘訣」



事務員 松田美奈子

私には大学院生の長女、大学生の長男、高校3年生の次男の3人の子供がいます。長女、長男は県外に住んでいますから、それぞれの生活をし、生活の範囲内ではありませんが、自分のやりたいことをして、元気に過ごしています。一緒に生活している次男もよく話をしてくれます。いえ、よく言い争いになっているような気がしますが、何かにつけて、この料理の味付けが薄いとか、濃いとか、本当に他愛もない話なのですが、こんな毎日がとても楽しく感じられます。

恐らく、私自身が楽しい毎日
を過ごしているおかげでは
ないかと思っています。もち
ろん、心配事がないわけでは
ありませんが、本人の意見
を尊重し、元気でいることが
私にとつては一番安心でき
ることなのです。子ども達が
幼い頃から、夏休み・春休み
になると主人の提案で旅行
に行っていました。



山陰の力二是絶品でした^^

車で移動しますので、車中泊も有り、せみのなき声で眠れなかつたり、朝起きると一面雪化粧だったり、楽しい思い出です。四国・九州には良く行き、近年は娘が関西に住んでいますので、近畿方面も出掛けて行き、現在でも都合をつけて、家族で出掛けます。最近では山陰にカニを食へに行き、ゆづり温泉に浸かってきました。今までも、そしてこれから、家族で旅行を続けていくことが家族仲良しの秘訣(?!)かなと思っています。

ちょっと一息

(好評?につき、私のコラム連載します^^:)

自分達が子供の頃に親に言われていた事。「テレビやマンガばかり見ずに勉強しろー」が、今は少し違ってきている。数年前に発行された養老孟司さん作「マンガをもっと読みなさい・日本人の脳は素晴らしい」の中に、「こう書いてある。「日本人は漢字とルビ(振り仮名)の両方を脳が理解して読んでいます。外国にはこの文化がない。「確かに外国の書物で振り仮名を見たことが無い。また、文字ばかりの本よりも絵のあるマンガは、漢字・振り仮名・絵を脳が理解している事になるので良い」との事。「子供の頃に読んだマンガのお陰で、今の自分がいるんだ!」そんなだいたいそんな事は言えないが、当時読んでいた、「キン肉マン」や「北斗の拳」において、礼を言っておかなければ…。ちなみに、小学一年生の自分の娘は、好んで「ワンピース」というマンガを見るのには無く、読んでいます。子供の発想はとてつもなく奇想天外。新しい必殺技を考えたり、と無限大である。
大人になった自分は、マンガよりも娘のそんな姿に見とれている。

編集委員 丸田電士

感染症予防について

一日ごとに暑さが益し、食中毒が心配される季節になりました。面会にお越しの際は、手洗いの徹底にご協力ください。また、生ものなどの持参もご遠慮いただきますよう、よろしくお願い致します。

編集後記

今回からこじか新聞が少し新しくなりました。こじか荘の中身を少しでもみなさんにご紹介し、取り組みなどを知っていただきたいと思います。



編集委員 丸田電士

ボランティア

- 4月 22日 鯉谷 美紀枝様(散髪)
- 29日 天理教廣島教区 北部支部様(清掃)
- 5月 13日 鯉谷 美紀枝様(散髪)
- 14日 中村 重喜様(陶芸)
- 6月 5日 鯉谷 美紀枝様(散髪)
- 15日 むすび会様(シーツ交換)
- 19日 中村 重喜様(陶芸)

ありがとうございます



ボランティア係 介護士 鯉谷 裕子

